

令和2年度

産業労働部運営プログラム

令和2年7月
産業労働部

令和2年度 産業労働部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】…第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 学校教育の充実【1-1】
 - ① 社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育の充実
 - ② 高等教育、専門的職業教育の充実
- (2) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ③ 産業界や地域のニーズを踏まえた社会人の学び直しの促進
- (3) 若者の定着・回帰の促進【1-3】
 - ④ 子どもの頃からの地域への愛着や理解の醸成
 - ⑤ 県内就業の促進
- (4) 国内外の様々な人材の呼び込み【1-4】
 - ⑥ 移住・定住の促進
 - ⑦ 「関係人口」の創出・拡大
 - ⑧ 外国人材の受入れ拡大

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (5) IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出【3-1】
 - ⑨ 先端技術の活用等によるイノベーションの創出
 - ⑩ 成長期待分野におけるイノベーションの創出
 - ⑪ イノベーション創出のための環境づくり
 - ⑫ 新たな事業の創出をけん引する人材の育成・確保
 - ⑬ 起業家・スタートアップ企業の創出
- (6) 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展【3-2】
 - ⑭ 競争力のあるものづくり産業群の形成
 - ⑮ 地域をマーケットとして雇用創出と所得循環を担う産業の振興
 - ⑯ 広域的なマーケットの開拓
 - ⑰ 企業の持続的発展に必要な人材の確保、円滑な事業承継の促進

3 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (7) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】
 - ⑱ 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みの強化
 - ⑲ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰の促進【⑤の再掲】
 - ⑳ 子育てと仕事の両立に向けた取組みの強化

- (8) 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備【4-6】
 - ㉑ 一人ひとりの多様な社会参加・就労の促進
 - ㉒ 外国人の受入環境の整備
 - ㉓ 多様な主体による社会的課題の解決に向けた取組みの促進
 - ㉔ 働き方改革の推進

4 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (9) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】
 - ㉕ 国際ネットワークの形成促進

- (10) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】
 - ㉖ 魅力あるまちづくりの推進
 - ㉗ 県を超えた交流連携の推進

II 政策の効率的・効果的な展開の促進

- ㉘ 新型コロナウイルス感染症への主な対応

令和2年度 産業労働部 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 学校教育の充実【1-1】

施策の推進方向と主な取組み

① 社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育の充実

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<多様な自己実現やスタートアップに必要となる力の育成>

(課題)

- ・新たなアイデアや意欲を持った若者が実際に事業を体験し、ノウハウを吸収することでビジネスプランを構築・磨き上げ、着実な起業に結び付けることが必要

(対応)

- ・事業ノウハウを習得する機会の提供
⇒事業構想を持った若者と先輩事業者等をマッチング

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分※	事業概要
若者創業応援プロジェクト事業費	13,863 (14,118)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	高校生等を対象にした起業家マインドの醸成、新たな発想と意欲を持つ若者向けのビジネスプラン作成支援、先輩事業者や後継者不在企業へのインターンの実施
計	13,863 (14,118)		

※「新規」は今年度新規事業、「見直し」は昨年度から見直しを行った事業、「継続」は昨年度からの継続事業

② 高等教育、専門的職業教育の充実

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<高等教育機関における高度で実践的・創造的な教育の展開>

(課題)

- ・IoTやAIなど先端技術を活用した生産性向上が求められているが、これらの技術に対応できるIT技術者の確保が困難

(対応)

- ・IT技術者の育成
⇒産業技術短期大学校におけるIoTやAIなど先端技術に関する内容を取り入れた訓練カリキュラムの充実

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
技術者養成事業費	6,433 (6,519)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県内企業における高度技術者養成研修の実施
向上訓練費	5,882 (5,420)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形職業能力開発専門校等において実施する民間企業の在職労働者を対象とした職業訓練の実施
成長分野担い手育成支援事業費	6,400 (8,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	成長分野に進出する企業が行う人材育成への支援
成長分野参入人材育成事業費	6,092 (6,092)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	成長分野に進出する企業における生産効率と現場リーダーの資質向上を図る研修会の開催
ものづくり産業マネジメント人材育成事業費	1,416 (1,417)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中小企業の経営者等を対象とした事業戦略やマネジメント理論等に関する研修の実施
計	26,223 (27,448)		

(2) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】

施策の推進方向と主な取組み

目標指標	職業訓練・自己啓発を行った者の割合（15歳以上）				
	基準値（平成29年）：23.6%				
	目標値（令和6年度）：25.3%				

③ 産業界や地域のニーズを踏まえた社会人の学び直しの促進

KPI	公共職業訓練（離職者訓練）の修了者における就職率				
	基準値（平成30年度）：68%				
	指標値	R2	R3	R4	R5
	75%	75%	75%	75%	75%

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><多様な学び直しの機会の創出></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 離職者の就職を支援するため、民間訓練事業者を活用し様々な訓練をする一方、受講者の多い事務系の業種に対する求人が低調のため、受講者の就職率が伸び悩み <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な訓練の実施 ⇒子育て等を機に離職した女性や働く意欲のある高齢者の再就職に向けた離転職者訓練等の充実

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
離転職者職業訓練事業費	233,365 (288,592)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	離転職者の早期再就職や障がい者の就業を支援するための職業訓練の実施
認定職業訓練施設助成事業費	88,440 (88,830)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	認定職業訓練施設の運営及び施設設備整備に対する支援
就職氷河期世代技能検定手数料支援事業費	1,820 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	就職氷河期世代の就業や雇用の安定を促進するため、非正規雇用労働者等が技能検定を受検する際の手数料を支援
計	323,625 (377,422)		

(3) 若者の定着・回帰の促進【1-3】

施策の推進方向と主な取組み

④ 子どもの頃からの地域への愛着や理解の醸成

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><児童生徒が地元の大人と関わりながら地域の魅力等について学ぶ機会の充実> (課題) ・大学等への進学予定者が県内企業や地域の産業情報に触れる機会が少なく、就職活動開始時に県内企業が候補先から外れることが懸念 (対応) ・進学予定の高校生に対し、県内企業の魅力や地域で働く意義を伝え、地域の産業界で働く意識を醸成するため、進学校と連携し県内企業を知り、地域の産業を理解するための機会を創出 ⇒高校生を対象とした企業経営者等による講演会などの開催</p>
<p><児童生徒や保護者に向けた山形暮らしのポジティブな情報・イメージの発信> (課題) ・県内には、世界的又は全国的に有名な製品が数多くあるものの、子供たちは、身近で作られているこれらのモノについて、また、山形のモノづくりの魅力について学ぶ機会が少ない状況 (対応) ・情報発信の強化 ⇒「ヤマガタものづくりガイドブック」の活用等、県内小中高生に対する県内企業の情報発信</p>

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
人材確保・生産性向上推進事業費	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
次世代ものづくり人材育成促進事業費	6,850 (6,852)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	ものづくり人材育成に関わる産業界、教育機関などによる連携基盤の構築等
計	70,105 (87,009)		

⑤ 県内就業の促進

K P I	県内新規高卒者の県内就職割合					
		基準値（平成 30 年度）： 77.9%				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		79.3%	80.0%	80.6%	81.3%	82.0%
	県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合					
		基準値（平成 30 年度）： 36.1%				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		37.4%	38.1%	38.7%	39.4%	40.0%
	就職支援サイトのアクセス件数（セッション）					
		基準値（平成 30 年度）： 49,434 件				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		50,000 件	50,500 件	51,000 件	51,500 件	52,000 件

【令和 2 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><学生目線に立った訴求力のある情報の発信></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の中小企業の多くは、最小限の人員で受注業務を行っているため、採用活動に注力できず、学生への情報発信が不十分 ・ 県内企業の魅力や優れた技術等に関する情報発信が不足 ・ ウェブ面接等新たな取組みにより採用活動を行う企業が増えつつあるため、県内中小企業においても新たな取組みを行うことが必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中小企業の情報を地域の高校等に確実に届け、地域の企業の人材採用力の強化の取組を後押し <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 高校を訪問して地元企業の魅力等を伝える「若者人材確保推進員」の配置等 ・ 就職関連情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ポータルサイトにより企業情報、求人情報やインターンシップ受入れ情報等を発信 ・ 県内中小企業の採用活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 採用活動においてウェブ面接等新たな取組みを行う県内中小企業の費用を一部補助 <p><県外進学者等に対する継続的な情報発信></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外在住者に向けた県内就職に関する情報発信が不足 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内就職に向けた情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 高校卒業時に登録した進学者に対する電子メール及びダイレクトメールによる就職情報の提供
--

<県内企業におけるインターンシップの受入れ促進>

(課題)

- ・ 学生が就職先を選ぶ検討材料になるインターンシップの、県内企業への普及が必要

(対応)

- ・ 企業と学生のマッチング支援

⇒県内のインターンシップ受入れ企業と学生との調整や、学生向け・保護者向け・県内企業向けの各種セミナーを行う「やまがた地方創生インターンシップ事業」を実施

<大卒者等の専門・高度な知識や能力を活かせる就業の場の拡大>

(課題)

- ・ 大学、高等専門学校卒業者の大部分が県外に就職

(対応)

- ・ 企業誘致活動の推進

⇒若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能等に対する積極的な誘致活動の展開

<若者や女性等の志向に応じた就業の場の拡大>

(課題)

- ・ サービス産業の生産性向上を図るためには設備投資やITツール導入を促進するための資金に対する支援が必要

- ・ 中心市街地は「まちの顔」であるが、郊外型大型店やコンビニの増加などにより来街者が減少し、賑わいが低下

- ・ 個店が経営に追われ商店街の活性化に従事できる人材が不足

(対応)

- ・ 生産性の向上の取組みへの支援

⇒中小企業・小規模事業者の設備投資等への補助

- ・ 中心商店街・商店街活性化への支援

⇒長期的ビジョンの策定や策定した計画の事業実施、賑わいづくりの取組みへの支援

- ・ 「官民連携のまちづくり」の推進

⇒まちづくりを担う人材を発掘・育成するため、研修会等の開催

<良質な就業環境づくり>

(課題)

- ・ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰を促進するためには、不本意非正規労働者の正社員化や、同一労働同一賃金の実現による非正規雇用の処遇改善が必要

(対応)

- ・ 正社員化や処遇改善・勤務条件の改善・向上に向けた企業等への支援の充実

⇒厚生労働省のキャリアアップ助成金の「正社員化コース」及び「賃金規定等改定コース・賃金規定等共通化コース」に上乗せする県独自の奨励金の支給等の実施

<若者や女性の新しい感性に基づく多様な創業の促進>

(課題)

- ・ 若者や女性のアイデアを磨き上げ、ビジネスプランの作成や事業化に結び付けていくことが必要。

(対応)

- ・ 創業のノウハウやスキルの習得

⇒創業を目指す若者等の交流会やビジネスプラン等のセミナーの開催、先輩起業家へのインターンシップの実施

<首都圏等からのUターン就職の促進>

(課題)

- ・ 県外進学者等が県内企業に就職するための支援が必要
- ・ 少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、来春に大学等を卒業予定である学生等の就職活動と、県内企業の採用活動の両方の動きが停滞

(対応)

- ・ 首都圏の大学における企業・就職情報の発信
⇒首都圏の大学と就職促進協定を締結し、大学での県内企業プレゼンテーション等を実施
- ・ 就職活動における経済面からの支援
⇒県内で実施される採用面接やインターンシップに参加するための交通費を一部助成
- ・ 市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開
⇒本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施
- ・ 合同企業面接会の開催
⇒県内の学生向けには対面式で、県外の学生向けにはオンラインで、それぞれ合同企業面接会を開催し、両者のマッチングを促進

<県内企業における雇用の維持>

(課題)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により苦境にある県内企業の雇いを維持するための支援が必要

(対応)

- ・ 雇用調整助成金の活用促進
⇒政府の雇用調整助成金において、助成率の大幅な引上げなど特例措置が拡大されたことを受け、当該助成金を県内企業が最大限活用するための支援を実施

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
企業立地促進事業費	2,502,354 (2,802,146)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県外から新たに進出する企業の設備投資及び県内企業による増設等への支援
企業誘致活動促進事業費	7,907 (7,859)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	本県の強みを活かせる分野等での積極的な誘致活動の展開、誘致企業へのフォローアップ
企業誘致連携強化推進事業費	2,950 (2,950)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	関係機関等との連携による効率的な企業誘致の推進
企業投資支援事業費	3,172 (3,172)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	首都圏や関西圏の企業に対し、本県の投資環境等をPRするセミナーを開催
中小企業スーパーサポート事業費(基金事業含む)	247,786 (348,760)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中小企業スーパーサポート補助金による研究開発から設備投資、販路開拓までの一貫した支援

創業者・小規模事業者総合応援事業費	59,420 (64,493)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	女性、Uターン希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援
若者創業応援プロジェクト事業費（再掲）	13,863 (14,118)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	高校生等を対象とした起業家マインドの醸成、新たな発想と意欲を持つ若者向けのビジネスプラン作成支援、先輩事業者や後継者不在企業へのインターンの実施
賑わいのある商店街づくり推進事業費	5,829 (5,010)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援
大型倒産等緊急対策事業費	7,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	商店街が行う個人消費喚起の取組みに対する市町村と連携した支援
山形の未来を担う産業人材創出事業費	35,554 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
県内定着・回帰促進事業費	18,715 (18,568)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	若者の県内定着・回帰に向けた就職情報サイトの運営、関係機関や首都圏の大学等と連携した地方創生インターンシップの推進、新卒者等の早期離職防止に向けた交流会等の実施
若年者Uターン人材確保対策事業費	12,578 (14,421)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	首都圏などに住む若者等に対する就職相談や県内企業情報の提供等
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
戦略産業求職者マッチング事業費	14,192 (14,192)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	製造業における安定雇用の促進を目指すセミナー、企業説明会の開催、カウンセリングの実施等
人材確保・生産性向上推進事業費（再掲）	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
山形県若者定着支援基金運営事業費、山形県若者定着奨学金返還支援事業費	354,002 (348,999)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	本県の中核企業等を担う人材の確保と若者の県内定着を図る奨学金返還支援制度の運営
ウェブ合同企業面接会等実施事業費	5,803 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職・採用活動の両面に悪影響が生じていることを受けての、オンラインでの面接会の開催

県内学生向け合同企業面接会実施事業費	3,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、本来就職・採用活動が活発化する4月から6月にかけて活動が停滞したことを受けての、感染症予防対策を実施しながらの対面式面接会の開催
雇用調整助成金活用支援事業費	140,306 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	政府の雇用調整助成金の活用促進を図るための、相談窓口の開設、県単独上乘せ及び市町村との連携による申請代行手数料の助成
計	3,683,644 (4,023,998)		

(4) 国内外の様々な人材の呼び込み【1-4】

施策の推進方向と主な取組み

⑥ 移住・定住の促進

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><生活面・就業面の支援の強化> (課題) ・少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難（再掲）</p> <p>(対応) ・市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開（再掲） ⇒本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施（再掲）</p>

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
山形県若者定着支援基金運営事業費、山形県若者定着奨学金返還支援事業費（再掲）	354,002 (348,999)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	本県の中核企業等を担う人材の確保と若者の県内定着を図る奨学金返還支援制度の運営
計	354,002 (348,999)		

⑦ 「関係人口」の創出・拡大

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><本県との関わりの創出・拡大> (課題) ・企業の成長戦略を実現するために有効となる副業・兼業人材の活用について、県内企業の理解促進を図ることが必要 ・これまで「山形心のふるさと県民」認定制度を通して本県との関わりを継続する機会を提供してきたが、より一層の関係人口拡大を図るため、新たな取組みを行うことが必要</p> <p>(対応) ・県内企業における副業・兼業人材活用のための周知の強化 ⇒プロフェッショナル人材戦略拠点に副業・兼業に対応した人員を増員し、副業・兼業人材の活用についてセミナーやチラシによる広報等を実施 ・山形応援寄付金（ふるさと納税）を通じた県産品の販路拡大 ⇒「山形心のふるさと県民」の返礼品モニターになるための条件に「山形ファンクラブへの入会」を加え、寄附者と本県のつながりを強化 ⇒都内在住の寄附者に対し、寄附を募るチラシとともに山形ファンクラブのチラシをメール送信し、更なる寄附件数及びファンクラブ会員数を確保</p>
--

【令和2年度関連事務事業】

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
プロフェッショナル人材戦略推進事業費	45,429 (38,018)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	県内企業の成長戦略を実現するプロフェッショナル人材及び副業・兼業人材のニーズの掘り起こし、企業とのマッチング支援、人材受入れ企業への紹介手数料及び副業・兼業人材の旅費助成
山形応援寄付金受入事業費	746,320 (423,194)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形応援寄付金（ふるさと納税）を通じた県産品の知名度向上と販路拡大
計	791,749 (461,212)		

⑧ 外国人材の受入れ拡大

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><留学生等の受入れから定着までの総合的な支援> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学等への留学生に、本県の魅力や県内企業の技術力等の触れ、就職先として強く関心を持ってもらうことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生と県内企業等とのマッチング支援 ⇒県内大学等との連携による、留学生を対象とする県内企業訪問や企業説明会などの実施

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
海外事業展開戦略事業費	2,874 (2,874)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	留学生を対象とする企業見学会・企業合同説明会の開催等による県内企業の外国人高度人材活用促進
人材確保・生産性向上推進事業費(再掲)	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
計	66,129 (83,031)		

(5) IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出【3-1】

目標指標	製造業従事者一人当たり 付加価値額
	基準値（平成29年）：1,133万円 目標値（令和6年）：1,400万円

施策の推進方向と主な取組み

⑨ 先端技術の活用等によるイノベーションの創出

KPI	IoTイノベーションセンターの利用件数					
	基準値（年度）：	—				
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
		3,000件	5,000件	6,000件	6,000件	6,000件

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜先端技術を活用した新たな製品・サービス創出する支援機能の強化＞

(課題)

- ・IoT・AI分野において新規参入を支援するための環境が未整備

(対応)

- ・製品開発拠点の整備や技術支援
 - ⇒新たに整備するIoTイノベーションセンターの活用
 - ⇒工業技術センターによる技術支援
- ・AI導入支援の充実
 - ⇒AIトップエンジニアの養成及びAIアドバイザーの派遣

＜新たな価値を生み出すネットワークづくり・プロジェクト化の推進＞

(課題)

- ・県内企業の市場競争力強化が必要

(対応)

- ・産学官連携による製品化・事業化の推進
 - ⇒産学官連携コーディネーターによるマッチングの強化
 - ⇒工業技術センターものづくり創造ラボによる製品化支援

＜企業の生産性向上（プロセスイノベーション）の促進＞

(課題)

- ・県内中小企業におけるIoT等の導入・活用が進んでいない
- ・中小企業・小規模事業者の経営基盤は脆弱であるため、生産性向上に資する設備投資のための資金に対する支援が必要

(対応)

- ・普及啓発活動の継続

⇒セミナー開催やIoT等活用モデル事例の周知 ・IoT等の具体的な導入・活用に向けたきめ細かな支援 ⇒IoT活用コーディネーターの活用 ⇒ロボットシステムインテグレータ育成研修の実施 ・設備投資のための支援の充実 ⇒生産性の向上に資する優れた設備投資への補助や低利融資による支援の実施

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
情報サービス産業振興事業費	7,772 (8,695)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	「山形県IoT推進ラボ」を通じた県内企業へのIoT等の導入促進
人材確保・生産性向上推進事業費(再掲)	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
中小企業スーパーサポート事業費(基金事業含む)(再掲)	247,786 (348,760)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中小企業スーパーサポート補助金による研究開発から設備投資、販路開拓までの一貫した支援
工業技術センター試験研究費	108,986 (106,231)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県内企業の技術的課題に対応した共同研究などによる技術支援の実施
自動車キーテクノロジー支援研究開発事業費	8,018 (2,970)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	自動車製造に係る新技術の研究開発
環境・エネルギー関連技術研究開発事業費	5,091 (19,358)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	エネルギー関連技術や環境負荷低減に寄与する技術の研究開発
やまがたフードセンシング活用事業費	7,682 (8,061)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	各種分析などのセンシング技術を活用した県産農産物等の特徴や機能性を活かした新たな加工食品の研究開発
ロボット応用システム開発事業費	923 (8,433)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	製造現場等におけるロボット応用に関する研究や、ロボットに搭載する各種センサーの研究開発
医療ものづくり技術開発事業費	4,256 (5,265)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	医療分野向けの検査装置や新たなセンサー製造技術の研究開発
商工業振興資金融資事業費	106,619,134 (58,200,500)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等を支援するため、市町村、金融機関と連携しながら実施している無利子融資制度に係る資金需要の増加に対応し、4月補正予算で増額した融資枠を、さらに大幅に増額(750億→2,417億)
計	107,072,903 (58,788,430)		

⑩ 成長期待分野におけるイノベーションの創出

K P I	有機エレクトロニクス分野における県内企業との共同研究等実施件数					
		基準値（平成 30 年度）： 18 件				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		20 件	21 件	22 件	23 件	24 件
	慶應先端研と県内企業等との共同研究等実施件数					
		基準値（平成 30 年度）： 19 件				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		22 件	23 件	24 件	25 件	26 件
	成長期待分野に新たに参入する県内企業数(累計)					
		基準値（平成 30 年度）： 187 件				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		197 件	207 件	217 件	227 件	237 件

【令和 2 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><成長が期待される分野への参入促進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の生産性の向上を図りながら、高い付加価値を生み出せる分野等への参入促進や取引拡大の促進が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業への情報提供 ⇒ 成長分野等の市場動向、業界特性、求められる技術水準など ・ 取引拡大支援 ⇒ 技術支援や生産現場改善支援など <p><世界最先端技術を活かした事業化の促進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機 E L 照明製品の市場における地位確立と普及拡大 ・ 有機 E L ディスプレイ分野における事業化に取り組む中核企業の地域定着 ・ 山形大学が世界に誇る有機エレクトロニクス分野の研究シーズの事業化 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機 E L 照明分野における製品開発への支援と有機 E L ディスプレイ分野における中核企業の量産化事業立上げ支援、有機エレクトロニクス分野における山形大学と県内企業による共同研究への支援 ⇒ 量産化等支援事業及び山形大学との共同開発支援事業の実施 ⇒ 八幡原事業化実証施設の運営 ⇒ O L E D コーディネーターの活用 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界最先端のメタボローム研究拠点としての優位性を活かした産業集積及び県内企業による

<p>慶應先端研の研究成果の一層の活用促進 (対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慶應先端研の成果の波及拡大のための体制強化 ⇒協定に基づく慶應先端研の受け入れ体制の整備 県内企業とのマッチング並びに慶應先端研ベンチャーの事業化に対する支援の強化 ・構造タンパク質素材の事業化促進 ⇒慶應先端研ベンチャーによる構造タンパク質素材の事業化の促進及び同社を核としたバイオ関連産業の振興 ・国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点の運営支援 ⇒同拠点の研究開発の推進支援及び現行プロジェクトの評価と次期プロジェクトの検討 ・慶應先端研ベンチャー企業等における研究開発の加速 ⇒慶應先端研ベンチャー企業等における研究開発の推進に必要な高度人材の確保への支援 <p><SDGsの考えを取り入れた新たなビジネス創出の促進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業による「SDGs経営」の取組みや大学等における理念教育等の動きが拡大している一方で、中小企業・小規模事業者においては、全国的に認知度の向上や対応が進んでいない状況 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業が取り組むべき重点分野や普及・指導の方法や体制等、県内企業の取組み推進の指針の策定 ⇒「SDGs 推進方針(仮称)」の策定

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
成長分野参入総合支援事業費	62,465 (66,363)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	新規参入のための各種認証の取得支援、産学官連携のコーディネート、生産効率の改善・販路開拓の支援などによる成長期待分野をけん引する中核企業の育成
有機エレクトロニクス関連産業集積促進事業費	133,412 (134,123)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	有機ELディスプレイ分野や照明分野への参入のための実証と事業化の支援、有機エレクトロニクス関連産業の集積促進
先端生命科学研究所教育研究支援事業費	350,100 (350,100)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	慶應義塾大学先端生命科学研究所における研究教育活動への支援
バイオクラスター形成促進事業費	73,565 (78,774)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果を活用した県内企業による事業化の促進、構造タンパク質素材関連産業の集積及びバイオ関連産業の事業拡大・成長に向けた支援
がんメタボローム研究推進支援事業費	107,726 (107,129)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	国立がん研究センターと慶應義塾大学先端生命科学研究所が連携して実施するがんメタボローム研究への支援
高度人材確保支援事業費	25,000 (30,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	ベンチャー企業等における研究開発の推進に必要な高度人材の確保への支援

中小企業販路開拓促進事業費	34,933 (33,508)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	県内企業の海外への取引拡大、大規模展示会への出展支援のほか、複数の企業グループが共同受注を行うための経費を助成
中小企業取引支援対策事業費	18,480 (12,431)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	取引あっせんや商談会開催等による中小企業の取引拡大への支援、企業の持続的発展に必要な成長戦略の策定を支援
自動車関連産業集積促進事業費	20,128 (20,128)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県内企業の取引拡大に向けた商談会の開催、自動車メーカーO Bによる県内企業への個別指導、次世代自動車技術への対応等
人材確保・生産性向上推進事業費（再掲）	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
自動車航空機関連産業設備貸与事業費	75,891 (90,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	(公財)山形県企業振興公社が実施する自動車・航空機分野での取引拡大等を目指す県内企業を対象とした設備貸与事業に対する原資貸付
計	964,955 (1,002,713)		

⑪ イノベーション創出のための環境づくり

K P I	コワーキングスペースを活用した新規事業創出件数					
	基準値（年度）： —					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	1件	3件	5件	5件	5件	

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><オープンイノベーションを育む交流の推進></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のコワーキングスペースは、大都市に比べ会員数が少なく、創業者間の交流による事業の拡大やビジネスチャンス、必要な助言等を得られる機会が少ない状況 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のコワーキングスペースのネットワーク化によるエコシステムを構築 ⇒コワーキングスペースを常時接続するとともにそれぞれのコワーキングスペースで創業者や創業希望者がアイデアを発表する場を設定 <p><新生活様式・新ビジネス様式に対応した環境づくり></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止の取組みと地域経済の回復の両立のため、県民が安心して社会活動ができる環境づくりが必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生活様式・新ビジネス様式に対応するために行う前向きな設備投資を支援 ⇒空調設備の整備、キャッシュレス決済やオンライン予約のシステム構築などの設備投資や在宅勤務、Web商談会等を可能とするテレワーク環境の整備を支援
--

【令和2年度関連事務事業】

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
山形の未来を担う産業人材創出事業（再掲）（うちコワーキングスペースネットワークモデル事業関係）	3,612 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
新・生活様式対応支援補助金	2,075,717 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等が、新・生活様式に対応する店舗の改修や設備を導入する経費に対する支援 ① ガイドライン対応型 ② 中小企業支援型 ③ 小規模事業者支援型
オンライン化促進支援補助金	153,365 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等が、在宅勤務やWeb商談会等を行うための、職場のテレワーク環境整備を支援
計	2,232,694 (-)		

⑫ 新たな事業の創出をけん引する人材の育成・確保

K P I	プロフェッショナル人材戦略拠点によるマッチング件数（累計）					
	基準値（令和元年度）： 173 件					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	225 件	277 件	329 件	329 件	329 件	

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><高い付加価値を生み出すことができる人材の育成・確保> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業において、プロ人材の活用や理解を広げるため、人材紹介事業に参入している地方銀行との連携を強化し活用を促進していくことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業への周知の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒プロフェッショナル人材戦略拠点に副業・兼業に対応した人員を増員し、副業・兼業人材の活用についてセミナーやチラシによる広報等を実施（再掲） ⇒地方銀行と連携したビジネスマッチング事業の実施や、信用金庫及び信用組合とプロフェッショナル人材を活用する連携体制を構築 <p><次代を担う高度技術人材の裾野の拡大> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の本県のものづくり産業を担う人材の確保に向けた、小中学生に対する「ものづくり」への興味関心の醸成

(対応) ・将来のものづくり人材の確保 ⇒県、教育機関、商工団体、企業等の連携による県内の少年少女発明クラブの活動支援及び空白地域への新設支援

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
プロフェッショナル人材戦略推進事業費(再掲)	45,429 (38,018)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、副業・兼業人材等の県外の人材と県内企業とのマッチングを支援
山形の未来を担う産業人材創出事業費(再掲)	32,554 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ(創業)人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
計	77,983 (38,018)		

⑬ 起業家・スタートアップ企業の創出

K P I	県の支援による創業件数					
	基準値(令和元年度): 67件					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	70件	70件	70件	70件	70件	70件

【令和2年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<p><スタートアップ企業への支援の充実> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県産業を牽引する中核的なビジネスの創出が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ支援体制の構築 ⇒産学官金連携による支援 ・スタートアップへの事業化への支援 ⇒補助金等による支援 <p><子どもや若者等の起業家精神育成・学習機会の充実> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の地域経済を支え、太宗を占める中小企業・小規模事業者が減少しているため、地域の担い手を継続的に生み出す取組みが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若者等への創業やスタートアップの啓発 ⇒若者の起業マインドの醸成に資するセミナーや交流会等を実施する。また、後継者不在企業とのマッチングや起業した事業者への支援の充実
--

・将来の科学技術等を担い、起業等により地域経済を支える人材の育成
 ⇒慶応先端研による研究助手・特別研修生制度など高校生を積極的に研究や実験に参加させる取組みへの支援

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
山形の未来を担う産業人材創出事業費(再掲)	32,554 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた青少年発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ(創業)人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
創業者・小規模事業者総合応援事業費(再掲)(うち創業支援事業関係)	59,420 (64,493)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	女性、Uターン希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援
若者創業応援プロジェクト事業費(再掲)	13,863 (14,118)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	高校生等を対象とした起業家マインドの醸成、新たな発想と意欲を持つ若者向けのビジネスプラン作成支援、先輩事業者や後継者不在企業へのインターンの実施
人材確保・生産性向上推進事業費(再掲)(うち地域課題解決型創業支援事業関係)	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
山形県産業創造支援センター運営事業費	11,325 (14,948)	新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	情報化・デザイン関連産業振興、新規創業、新分野進出を支援する産業創造支援センターの管理運営
計	180,417 (173,716)		

(6) 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展【3-2】

目標指標	製造業付加価値額	
	基準値（平成29年）	： 1兆1,212億円
	目標値（令和6年）	： 1兆4,000億円

施策の推進方向と主な取組み

⑭ 競争力のあるものづくり産業群の形成

K P I	工業技術センターによる技術移転件数				
	基準値（平成30年度）： 52件				
	指標値	R2	R3	R4	R5
	60件	60件	60件	60件	60件

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><個々の企業の技術・経営基盤の強化と企業間ネットワークの形成促進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模事業者は経営基盤や組織体制が脆弱であることから支援機関による連携した支援が必要 ・製造業付加価値額の増大に向けて、地域の産業を牽引する地域中核企業の創出が必要 ・企業間の相互交流や地域での共同受注の体制構築が必要 ・本県の豊富な森林資源の活用など、地域資源を活用した幅広い視点からの製品づくりが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業トータルサポート体制」による中小企業等の経営全般への支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商工会・商工会議所、中小企業団体中央会、企業振興公社等による支援の強化 ・地域未来投資促進法を活用した地域中核企業の掘り起し、育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒制度の周知、事業実施主体の掘り起し ⇒地域経済牽引事業計画の策定支援 ・共同受注に向けた成功事例の創出 <ul style="list-style-type: none"> ⇒共同受注に向けた勉強会への支援 ・木製製品などの製品開発支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒中小企業スーパートータルサポ補助金（研究開発支援事業）による支援など <p><デザインを活用した価値創出></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者のデザインに対する理解が不十分 ・企業の製品企画力、マーケティング力が不足 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者や開発責任者のデザインに対する理解力の深化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒経営者等を対象としたデザイン活用セミナーの実施 ⇒山形エクセレントデザイン展の開催 ・企業のデザイン力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒芸工大の有する人材、知識を活用した製品開発の推進

⇒製品の販路開拓およびブラッシュアップの手法に関するワークショップ等を開催

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
中小企業スーパー トータルサポ 事業費(基金事業 含む)(再掲)	247,786 (348,760)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中小企業スーパートータルサポ補助金による研究開発から設備投資、販路開拓までの一貫した支援
デザイン振興事 業費	3,770 (5,532)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形エクセレントデザイン展の開催および芸工大との協働による地域課題解決のための新製品開発
地域コーディネ ーター設置事業 費	47,851 (44,496)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業の地域の身近な窓口である総合支庁への地域コーディネーターの配置、支援施策ガイドブックの作成
小規模事業対策 費	1,145,712 (1,146,304)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	商工会議所、商工会等が行う県内小規模事業者の経営改善に向けた相談・指導の体制整備や事業に要する経費への助成
連携組織対策費	128,346 (124,782)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形県中小企業団体中央会が実施する事業協同組合等の連携組織に対する指導やセミナー開催などの経費への助成
工業技術力整備 機械貸与助成事 業費	101,726 (92,632)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	(公財)山形県企業振興公社が実施する県内の中小企業を対象とした設備貸与事業に対する原資貸付
経営基盤強化体 制整備事業費	38,186 (84,716)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	(公財)山形県企業振興公社に経営革新、デザイン、マーケティング、省エネ等の専門アドバイザー等を配置し、県内企業の経営課題の解決と発展・成長を支援
計	1,713,377 (1,847,222)		

⑮ 地域をマーケットとして雇用創出と所得循環を担う産業の振興

K P I	県の支援による商業・サービス業の新事業創出数					
	基準値(平成30年度): 11件					
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
	15件	16件	17件	18件	20件	

【令和2年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<サービス産業の生産性向上>

(課題)

・中小企業・小規模事業者は経営基盤や組織体制が脆弱であるため生産性向上に資する設備投資や経営改善等についての支援が必要

(対応)

・設備投資等のための支援の充実

⇒生産性の向上に資する優れた設備投資への補助や低利融資、専門家派遣等への支援の充実

<新たなビジネスの創出>

(課題)

- ・インターネット通信販売の拡大などの商業形態の多様化や、ライフスタイルの変化に伴う消費ニーズの多様化といった商業を取り巻く環境の変化により、地域を支える商業者の経営力が低下
- ・中心市街地の賑わいを創出するため空き店舗を活用した若者や女性への起業を進めていくことが必要

(対応)

- ・地域を支える商業者の経営力強化に向けた取組みの推進
⇒移動販売や宅配事業等の買物困難者対策に取り組む商業者への支援
- ・中心市街地の空き店舗での創業支援の充実
⇒やまがたチャレンジ創業応援事業において、「中心市街地空き店舗活用型」の加算による創業支援

<緊急的な経営改善への支援>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3密が起きやすい業態並びに県外との往来に係る業態の施設等において、ゴールデンウィーク期間中の営業自粛等に取り組むことが必要
- ・営業自粛等を行った事業者において、新型コロナウイルスを乗り越えるための経営改善の検討が必要

(対応)

- ・県からの企業等の活動の自粛要請に協力し、経営改善の検討を行う事業者に対する支援の実施
⇒山形県緊急経営改善支援金の交付

<地域経済の景気浮揚策>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた地域経済が本格的な回復に至らず

(対応)

- ・県民の県内での消費活動喚起策を実施
⇒県内の飲食店や小売店、生活関連サービス業等で、県民が利用できるプレミアム付きクーポン券を発行

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
賑わいのある商店街づくり推進事業費(再掲)	5,829 (5,010)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援
創業者・小規模事業者総合応援事業費(再掲)	59,420 (64,493)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	女性、Uターン希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援
小規模事業者対策費	1,145,712 (1,146,304)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	商工会議所、商工会等が行う県内小規模事業者の経営改善に向けた相談・指導の体制整備や事業に要する経費への助成

連携組織対策費	128,346 (124,782)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形県中小企業団体中央会が実施する事業協同組合等の連携組織に対する指導やセミナー開催などの経費への助成
緊急経営改善支援金交付事業費	1,111,193 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	ゴールデンウィーク期間中において、県からの企業活動の自粛要請に協力する県内事業者に対し、新型コロナウイルスを乗り越えるための経営改善の検討を支援
飲食店・小売店・生活関連等消費応援事業費（再掲）	1,562,800 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	本格的な地域経済の回復につなげるため、県民（県内在住者）が県内の飲食店、小売店及び生活関連サービス業等において使用することができるプレミアム付きクーポン券を発行
計	4,013,300 (1,340,589)		

⑩ 広域的なマーケットの開拓

K P I	県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数				
	基準値（平成30年度）： 24者				
	指標値	R2	R3	R4	R5
	30者	36者	42者	48者	54者

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><県産品のブランドイメージの向上・定着> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる県産品の販路拡大と生産者による主体的な取組みが必要 ・アンテナショップ「おいしい山形プラザ」の来客数が伸び悩んでいることから、県産品の更なる魅力発信及びブランド力向上を図り、浸透度の高い効果的な情報発信を推進することが必要 ・県産品の販路拡大や観光誘客の上で、有望かつ極めて大きなマーケットである関西圏に対して、本県のより一層の認知度向上や積極的な情報発信に取り組むことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトを核とした継続的な情報発信・需要創出 ⇒ポータルサイト魅力増進に資するコンテンツの充実や SNS 等を活用した情報の発信 ・アンテナショップの首都圏における情報発信拠点としての機能を拡充 ⇒これまでの取組みに加え、山形らしい季節感や懐かしさとともに、目新しさや賑やかさが感じられる店舗づくり、SNS 等でのタイムリーな情報発信等、運営面を工夫 ・アンテナショップのトライアル販売を継続 ⇒アンテナショップで県内企業の商品を一定期間販売し、首都圏消費者のニーズ等をフィードバックし、県内企業の商品作りを支援するトライアル販売を継続し、県産品の首都圏における販路拡大を支援 ・関西圏における東北や本県の更なる認知度向上と観光誘客の強化 ⇒集客力の高い商業地等で、宮城県と合同での期間限定のアンテナショップを出店 <p><国内外への販売網の構築> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品や地場産業製品などについて、従前より行ってきた個別商品の開発支援や、百
--

<p>貨店など特定の販路に対する働きかけでは、販路の開拓・拡大に限界がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産酒の更なるブランド力の向上と県産酒を中心とする県産品全体の取引拡大を図ることが必要 ・ 県内企業の取引拡大に向けては、多様な受発注機会の創出が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品群のブランディングとバイヤーを通じた販路開拓・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ デザイナーを活用し、複数の商品に対しストーリー性を持ったブランディングを行うことで商品群として造成 ⇒ バイヤーを通じた販路を開拓・拡大を図るため、多くのバイヤーが参加する首都圏の展示商談会へ出展 ・ 国内外での情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新たな販路開拓に向け、IWC「SAKE部門」審査会の開催などを通じて構築できたネットワークなどを活用し、バイヤーの招へいや酒と関連した製品まで含めた展示商談会等を開催 ・ 県内企業の発注開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 広域商談会の開催、全国規模の展示会への出展支援、取引推進員等による販路開拓支援 <p>< 県産品の輸出拡大 ></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大などによる経済情勢が大きく変化する中で、各国・地域のニーズに適した県産品の販路開拓・拡大を図ることが必要 ・ 中国や欧米等のEC市場をターゲットとして越境EC事業に取り組む県内企業に対し、販路開拓と継続取引につながる支援が必要 ・ 京浜港だけでなく秋田港・新潟港・仙台港など近隣港との競争が激しくなっていること等を踏まえ、本県内陸地域や県外での新規荷主の獲得と定着に取り組むことにより、酒田港の利用拡大を図ることが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点地域を中心とした県産品の輸出拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 令和2年3月に策定した第2次山形県国際戦略において重点地域と位置付けた台湾、中国、香港、韓国及びASEANを中心に、信頼関係を構築してきた海外パートナーとの連携による県産品の輸出拡大 ・ 越境EC市場への参入支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県内企業を対象とする越境ECセミナーの開催や越境ECへの参入に要する経費の助成等と合わせて、新たに県内企業と越境ECバイヤーとの商談会を開催し、海外EC市場への販路を開拓 ・ 酒田港利用拡大等に向けたポートセールスの展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県内外企業に対し、酒田港の港湾機能の強化やコンテナ航路利用助成等をアピールし、酒田港の利用拡大を図るとともに、国際定期コンテナ航路の運航会社に対する航路の利便性向上を働きかけ

【令和2年度関連事務事業】 (単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
アンテナショップ 管理運営事業費	120,517 (127,338)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	アンテナショップの管理運営
山形ファンクラブ 活用推進事業費	12,069 (11,920)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	首都圏等をターゲットとした山形ファンの拡大と本県の旬な情報の発信

届けよう山形の魅力プロジェクト事業費	18,208 (75,918)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県産品のブランドコンセプトを活かした情報発信や実売拡大に向けたしくみづくり、宮城県との合同による関西圏での期間限定アンテナショップの出店
山形県産品愛用運動推進事業費	2,245 (2,461)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県産品の認知度向上や県民各層への普及啓発活動による県産品愛用運動の一層の定着促進
山形の物産展開催事業費	7,500 (7,500)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	全国主要都市における「観光と物産展」の開催
伝統工芸品販路開拓事業費	6,293 (6,603)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	大学等との連携による訴求力のある製品開発及び戦略的プロモーションの展開、地場産業・伝統的工芸品産業の後継者育成のための就業体験プログラムの実施
「日本一美酒県山形」推進プロジェクト事業費	4,046 (11,976)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県産酒を中心に食や伝統工芸、観光資源など県産品等を総合的にPRする展示商談会「日本一美酒県 山形」フェアの開催準備等
県産品輸出戦略事業費	41,209 (45,893)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	台湾、中国、香港、韓国、ASEAN地域などへの県産品輸出を促進するための商談会、販売プロモーション、バイヤー招へい等の実施
経済国際化推進体制整備事業費	23,110 (23,114)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	海外取引の支援、県産品輸出拡大の支援強化を図るための推進体制等の充実
県産品を世界へ！若手経営者海外展開支援事業	9,964 (16,748)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	県内中小企業の若手経営者が取り組む、海外プロモーションや越境ECによる海外展開に対する支援
酒田港国際物流拠点化推進事業費	18,110 (18,163)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	酒田港利用拡大に向けたポートセールスの実施、並びにコンテナ航路の利用に対する助成
計	263,271 (347,634)		

⑰ 企業の持続的発展に必要な人材の確保、円滑な事業承継の促進

K P I	社会保険労務士等の専門人材等の派遣企業数（累計）					
	基準値（令和元年度）： 550 社					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		750 社	950 社	1,150 社	1,350 社	1,550 社
	県の支援による県内企業の事業承継マッチング数					
	基準値（令和元年度）： 14 件					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		19 件	19 件	19 件	19 件	19 件

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜働きやすい職場環境の整備＞

（課題）

- ・少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要

（対応）

- ・柔軟な働き方に関する企業の優良事例等情報発信の強化
⇒ホームページ「WEB労働やまがた」や労働学院の開催等による普及・啓発
- ・職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実
⇒働き方改革推進アドバイザー及び所得向上促進アドバイザー（いずれも社会保険労務士）の派遣
- ・正社員化や処遇改善・勤務条件の改善・向上に向けた企業等への支援の充実（再掲）
⇒厚生労働省のキャリアアップ助成金の「正社員化コース」及び「賃金規定等改定コース・賃金規定等共通化コース」に上乗せする県独自の奨励金の支給等の実施（再掲）

＜新たな事業展開に結びつく事業承継の促進＞

（課題）

- ・事業承継の経営者の気づきにつながる「事業承継診断」は進んでいるが、円滑な事業承継をするための「承継計画」の策定が進まず
- ・経営者が高齢化する中、後継者不在の企業が多く存在

（対応）

- ・事業承継計画の策定支援の強化、創業希望者と後継者不在企業とのマッチング
⇒承継計画の策定費用について企業負担をゼロ（全額国費）とし、事業承継を強力に推進
⇒後継者不在企業への創業希望者によるインターンシップの実施

＜小規模事業者が持つ機能の承継の促進＞

（課題）

- ・事業承継を進めていくため、関係機関がさらに情報共有を図り連携していくことが必要
- ・伝統的工芸品産業・地場産業における生産者は年々減少し、本県の伝統的技術・技法の継承は危機的状況にあり、後継者の育成が喫緊の課題

（対応）

- ・市町村等との連携による事業承継の促進
⇒市町村との連携により事業承継・雇用継続奨励金給付事業を実施し、事業承継をさらに促進
- ・伝統的工芸品産業・地場産業における後継者の確保
⇒地場産業・伝統的工芸品産業の組合等が実施する後継者育成等の取組みへの支援
⇒工芸・デザイン系大学に通う学生等を対象とした地場産業・伝統工芸品等の製作工程を体験する就業体験プログラムの実施

＜中小企業・小規模事業者の持続化のための資金繰り支援＞

（課題）

- ・新型コロナウイルスにより県内の幅広い業種に影響が及んでおり、経営基盤が脆弱な中小企業・小規模事業者の経営を下支えすることが必要

（対応）

- ・商工業振興資金による無利子融資制度等による支援
⇒売上の減少が著しい事業者への、県・市町村・金融機関等が連携した無利子・無保証慮の融資制度による支援

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
人材確保・生産性 向上推進事業費 (再掲)	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
非正規雇用労働者 正社員化・所得 向上促進事業費 (再掲)	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
生活あんしんネ ットやまがた事 業費	7,912 (7,912)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	労働者等からの福祉や生活に関する相談受付や就労支援を行う生活あんしんネットやまがたの運営
山形県事業承継 ネットワーク		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	経営者の早期の気づきの促進(事業承継診断、セミナー開催等)から個社支援(承継計画の策定、後継者育成塾の開催等)まで切れ目のない支援を実施(ゼロ予算事業) ※国から企業振興公社への委託事業
事業承継引継ぎ 支援センターの 設置		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業引継ぎ支援センターの設置 (ゼロ予算事業) ※国から企業振興公社への委託事業
事業承継・雇用継 続奨励金給付事 業費	36,388 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	県外からの移住によって個人の事業を承継する者や法人の事業を承継する者に奨励金を給付
伝統工芸品販路 開拓事業費(再 掲)	6,293 (6,603)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	大学等との連携による訴求力のある製品開発及び戦略的プロモーションの展開、地場産業・伝統的工芸品産業の後継者育成のための就業体験プログラムの実施・工芸・デザイン系大学に通う学生等を対象に、伝統工芸品等の製作工程を体験する就業体験プログラムを実施
商工業振興資金 融資事業費(再 掲)	106,619,134 (58,200,500)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等を支援するため、市町村、金融機関と連携しながら実施している無利子融資制度に係る資金需要の増加に対応し、4月補正予算で増額した融資枠を、さらに大幅に増額(750億→2,417億)
計	106,918,940 (58,594,325)		

(7) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】

施策の推進方向と主な取組み

⑱ 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みの強化

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<経済的基盤の安定化や新生活への支援の充実>

（課題）

- ・ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰を促進するためには、不本意非正規労働者の正社員化や、同一労働同一賃金の実現による非正規雇用の処遇改善が必要（再掲）

（対応）

- ・ 正社員化や処遇改善・勤務条件の改善・向上に向けた企業等への支援の充実（再掲）
⇒厚生労働省のキャリアアップ助成金の「正社員化コース」及び「賃金規定等改定コース・賃金規定等共通化コース」に上乗せする県独自の奨励金の支給等の実施（再掲）

【令和2年度関連事務事業】

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費 (再掲)	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
計	185,958 (299,153)		

⑱ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰の促進【⑤の再掲】

K P I	県内新規高卒者の県内就職割合（再掲）					
		基準値（平成30年度）： 77.9%				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		79.3%	80.0%	80.6%	81.3%	82.0%
	県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合（再掲）					
		基準値（平成30年度）： 36.1%				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		37.4%	38.1%	38.7%	39.4%	40.0%
	就職支援サイトのアクセス件数（セッション）（再掲）					
		基準値（平成30年度）： 49,434件				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		50,000件	50,500件	51,000件	51,500件	52,000件

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><学生目線に立った訴求力のある情報の発信></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小企業の多くは、最小限の人員で受注業務を行っているため、採用活動に注力できず、学生への情報発信が不十分 ・県内企業の魅力や優れた技術等に関する情報発信が不足 ・ウェブ面接等新たな取組みにより採用活動を行う企業が増えつつあるため、県内中小企業においても新たな取組みを行うことが必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中小企業の情報を地域の高校等に確実に届け、地域の企業の人材採用力の強化の取組を後押し <ul style="list-style-type: none"> ⇒高校を訪問して地元企業の魅力等を伝える「若者人材確保推進員」の配置等 ・就職関連情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ポータルサイトにより企業情報、求人情報やインターンシップ受入れ情報等を発信 ・県内中小企業の採用活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒採用活動においてウェブ面接等新たな取組みを行う県内中小企業の費用を一部補助 <p><県外進学者等に対する継続的な情報発信></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外在住者に向けた県内就職に関する情報発信が不足 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職に向けた情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ⇒高校卒業時に登録した進学者に対する電子メール及びダイレクトメールによる就職情報の提供 <p><県内企業におけるインターンシップの受入れ促進></p>
--

(課題)

- ・ 学生が就職先を選ぶ検討材料になるインターンシップの、県内企業への普及が必要

(対応)

- ・ 企業と学生のマッチング支援
⇒ 県内のインターンシップ受入れ企業と学生の間で調整や、学生向け・保護者向け・県内企業向けの各種セミナーを行う「やまがた地方創生インターンシップ事業」を実施

<大卒者等の専門・高度な知識や能力を活かせる就業の場の拡大>

(課題)

- ・ 大学、高等専門学校の卒業者の大部分が県外に就職

(対応)

- ・ 企業誘致活動の推進
⇒ 若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能等に対する積極的な誘致活動の展開

<若者や女性等の志向に応じた就業の場の拡大>

(課題)

- ・ サービス産業の生産性向上を図るためには設備投資やITツール導入を促進するための資金に対する支援が必要
- ・ 中心市街地は「まちの顔」であるが、郊外型大型店やコンビニの増加などにより来街者が減少し、賑わいが低下
- ・ 個店が経営に追われ商店街の活性化に従事できる人材が不足

(対応)

- ・ 生産性の向上の取組みへの支援
⇒ 中小企業・小規模事業者の設備投資等への補助
- ・ 中心商店街・商店街活性化への支援
⇒ 長期的ビジョンの策定や策定した計画の事業実施、賑わいづくりの取組みへの支援
- ・ 「官民連携のまちづくり」の推進
⇒ まちづくりを担う人材を発掘・育成するため、研修会等を開催

<良質な就業環境づくり>

(課題)

- ・ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰を促進するためには、不本意非正規労働者の正社員化や、同一労働同一賃金の実現による非正規雇用の処遇改善が必要

(対応)

- ・ 正社員化や処遇改善・勤務条件の改善・向上に向けた企業等への支援の充実
⇒ 厚生労働省のキャリアアップ助成金の「正社員化コース」及び「賃金規定等改定コース・賃金規定等共通化コース」に上乗せする県独自の奨励金の支給等の実施

<若者や女性の新しい感性に基づく多様な創業の促進>

(課題)

- ・ 若者や女性のアイデアを磨き上げ、ビジネスプランの作成や事業化に結び付けていく必要がある。

(対応)

- ・ 創業のノウハウやスキルの習得
⇒ 創業を目指す若者等の交流会やビジネスプラン等のセミナーの開催、先輩起業家へのインターンシップの実施

<首都圏等からのUターン就職の促進>

(課題)

- ・ 県外進学者等が県内企業に就職するための支援が必要
- ・ 少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、来春に大学等を卒業予定である学生等の就職活動と、県内企業の採用活動の両方の動きが停滞

(対応)

- ・ 首都圏の大学における企業・就職情報の発信
⇒ 首都圏の大学と就職促進協定を締結し、大学での県内企業プレゼンテーション等を実施
- ・ 就職活動における経済面からの支援
⇒ 県内で実施される採用面接やインターンシップに参加するための交通費を一部助成
- ・ 市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開
⇒ 本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施
- ・ 合同企業面接会の開催
⇒ 県内の学生向けには対面式で、県外の学生向けにはオンラインで、それぞれ合同企業面接会を開催し、両者のマッチングを促進

< 県内企業における雇用の維持 >

(課題)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により苦境にある県内企業の雇用の維持するための支援が必要

(対応)

- ・ 雇用調整助成金の活用促進
⇒ 政府の雇用調整助成金において、助成率の大幅な引上げなど特例措置が拡大されたことを受け、当該助成金を県内企業が最大限活用するための支援を実施

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
企業立地促進事業費(再掲)	2,502,354 (2,802,146)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県外から新たに進出する企業の設備投資及び県内企業による増設等への支援
企業誘致活動促進事業費(再掲)	7,907 (7,859)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	本県の強みを活かせる分野等での積極的な誘致活動の展開、誘致企業へのフォローアップ
企業誘致連携強化推進事業費(再掲)	2,950 (2,950)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	関係機関等との連携による効率的な企業誘致の推進
企業投資支援事業費(再掲)	3,172 (3,172)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	首都圏や関西圏の企業に対し、本県の投資環境等をPRするセミナーを開催
中小企業スーパーサポート事業費(基金事業含む)(再掲)	247,786 (348,760)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中小企業スーパーサポート補助金による研究開発から設備投資、販路開拓までの一貫した支援

創業者・小規模事業者総合応援事業費（再掲）	59,420 (64,493)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	女性、Uターン希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援
若者創業応援プロジェクト事業費（再掲）	13,863 (14,118)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	高校生等を対象とした起業家マインドの醸成、新たな発想と意欲を持つ若者向けのビジネスプラン作成支援、先輩事業者や後継者不在企業へのインターンの実施
賑わいのある商店街づくり推進事業費（再掲）	5,829 (5,010)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援
大型倒産等緊急対策事業費（再掲）	7,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	商店街が行う個人消費喚起の取組みに対する市町村と連携した支援
山形の未来を担う産業人材創出事業費（再掲）	32,554 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
県内定着・回帰促進事業費（再掲）	18,715 (18,568)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	若者の県内定着・回帰に向けた就職情報サイトの運営、関係機関や首都圏の大学等と連携した地方創生インターンシップの推進、新卒者等の早期離職防止に向けた交流会等の実施
若年者Uターン人材確保対策事業費（再掲）	12,578 (14,421)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	首都圏などに住む若者等に対する就職相談や県内企業情報の提供等
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費（再掲）	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
戦略産業求職者マッチング事業費（再掲）	14,192 (14,192)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	製造業における安定雇用の促進を目指すセミナー、企業説明会の開催、カウンセリングの実施等
人材確保・生産性向上推進事業費（再掲）	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
山形県若者定着支援基金運営事業費、山形県若者定着奨学金返還支援事業費（再掲）	354,002 (348,999)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	本県の中核企業等を担う人材の確保と若者の県内定着を図る奨学金返還支援制度の運営
ウェブ合同企業面接会等実施事業費（再掲）	5,803 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職・採用活動の両面に悪影響が生じていることを受けての、オンラインでの面接会の開催

県内学生向け合同企業面接会実施事業費（再掲）	3,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、本来就職・採用活動が活発化する4月から6月にかけて活動が停滞したことを受けての、感染症予防対策を実施しながらの対面式面接会の開催
雇用調整助成金活用支援事業費（再掲）	140,306 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	政府の雇用調整助成金の活用促進を図るための、相談窓口の開設、県単独上乗せ及び市町村との連携による申請代行手数料の助成
計	3,680,644 (4,023,998)		

⑳ 子育てと仕事の両立に向けた取組みの強化

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><働き方の見直しの推進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要（再掲） <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実（再掲） ⇒働き方改革推進アドバイザー及び所得向上促進アドバイザー（いずれも社会保険労務士）の派遣（再掲）

【令和2年度関連事務事業】

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費（再掲）	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
計	185,958 (299,153)		

(8) 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備【4-6】

目標指標	正社員割合の全国順位	
	基準値（平成29年）	: 2位
	目標値（令和6年度）	: 1位
	高齢者（65歳以上）の有業率	
基準値（平成29年）	: 25.2%	
目標値（令和6年度）	: 30.2%	

施策の推進方向と主な取組み

② 一人ひとりの多様な社会参加・就労の促進

KPI	高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数					
	基準値（年度）	—				
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
		100人	100人	100人	100人	100人
	障がい者実雇用率の全国順位					
	基準値（平成30年）	35位				
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
		30位以内	25位以内	20位以内	15位以内	10位以内

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><女性も男性も活躍できる環境づくり（ウーマノミクスの加速）> （課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保のためには、女性が働きやすい職場環境づくりを行い、女性の就業率の向上が必要（対応） ・女性が働きやすい職場環境を作るために必要な法制度、助成制度、具体的な事例等を紹介する企業向けセミナーの実施 ⇒女性就業促進支援セミナーの実施 <p><元気な高齢者の活躍の場の拡大> （課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保のためには、高齢者が働きやすい職場環境づくりを行い、高齢者の就業率の向上が必要 ・就業を希望する高齢退職者に対する就業機会の提供が必要（対応） ・高齢者が働きやすい職場環境を作るために必要な法制度、助成制度、具体的な事例等を紹介する企業向けセミナーの実施 ⇒高齢者就業促進支援セミナーの実施
--

<ul style="list-style-type: none"> 山形県シルバー人材センター連合会の取り組みに対する支援 ⇒連合会が行う高齢者の就業機会の開拓、安全適正就業対策の事業等に対し補助 <p><障がい者がいきいきと暮らせる社会の実現 > (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内企業のうち約5割が法定雇用率未達成。 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形県障がい者雇用優良事業主の認定 ⇒積極的に障がい者を雇用する県内企業を知事が認定し、その取り組みを広く紹介することによる障がい者雇用の普及啓発 <p><社会参加に困難を有する人の自立促進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> いわゆる「ニート」と呼ばれる若者等が職業的に自立するための支援が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域若者サポートステーションによる支援 ⇒臨床心理士による相談やコミュニケーション開発事業等就労に向けた支援を実施 県求職者総合支援センターによる支援 ⇒生活就労相談員による住居、生活福祉資金、金融、職業訓練・講習等の相談対応
--

【令和2年度関連事務事業】 (単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
高年齢者活躍支援事業費	16,546 (16,546)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県シルバー人材センター連合会及び地区シルバー人材センターに対する支援
障がい者就業応援事業費	1,013 (1,013)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	障がい者雇用の促進に向けた普及啓発事業の実施、障がい者職業訓練受入企業の開拓等
トータル・ジョブサポート運営事業費	10,434 (10,428)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県とハローワークが一体的に設置する「トータル・ジョブサポート」の運営
若者就職支援センター事業費	40,044 (40,442)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	若者の就職を在学中から職場定着まで一貫して支援する若者就職支援センターの運営
地域若者サポートステーション事業費	14,249 (14,241)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	ニートなどの若者に対する職業的自立に向けた支援プログラムの実施
人材確保・生産性向上推進事業費 (再掲)	63,255 (80,157)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援及び企業向け外国人雇用相談窓口の運営、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等
計	145,541 (162,827)		

② 外国人の受入環境の整備

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<留学生等の受入れから定着までの総合的な支援> (課題) ・県内大学等への留学生に、本県の魅力や県内企業の技術力等の触れ、就職先として強く関心を持ってもらうことが必要（再掲） (対応) ・留学生と県内企業等とのマッチング支援（再掲） ⇒県内大学等との連携による、留学生を対象とする県内企業訪問や企業説明会などの実施（再掲）	
--	--

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
海外事業展開戦略事業費（再掲）	2,874 (2,874)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	留学生を対象とする企業見学会・企業合同説明会の開催等による県内企業の外国人高度人材活用促進
計	2,874 (2,874)		

③ 多様な主体による社会的課題の解決に向けた取組みの促進

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<ボランティア団体やNPO、企業等の活動の活性化> (課題) ・県内の返礼品取扱事業者等、企業活動の活性化を図るため、山形応援寄付金（ふるさと納税）の増加に取り組むことが必要 (対応) ・山形応援寄付金（ふるさと納税）の増加 ⇒寄付金を受け入れるポータルサイトの拡大や、魅力ある返礼品の創出、部局間の連携による情報発信の強化	
---	--

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
山形応援寄付金受入事業費（再掲）	746,320 (423,194)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形応援寄付金（ふるさと納税）を通じた県産品の知名度向上と販路拡大
計	746,320 (423,194)		

⑭ 働き方改革の推進

K P I	年次有給休暇取得日数				
	基準値（平成30年）：9.3日				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5
	9.3日	9.3日	9.3日	9.3日	9.3日

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><働きやすい職場環境の整備></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要（再掲） <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方に関する企業の優良事例等情報発信の強化（再掲） ⇒ホームページ「WEB労働やまがた」や労働学院の開催等による普及・啓発（再掲） ・職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実（再掲） ⇒働き方改革推進アドバイザー及び所得向上促進アドバイザー（いずれも社会保険労務士）の派遣（再掲） ・正社員化や処遇改善・勤務条件の改善・向上に向けた企業等への支援の充実（再掲） ⇒厚生労働省のキャリアアップ助成金の「正社員化コース」及び「賃金規定等改定コース・賃金規定等共通化コース」に上乗せする県独自の奨励金の支給等の実施（再掲）

【令和2年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 （前年度）	区分	事業概要
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費 （再掲）	185,958 (299,153)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	非正規雇用労働者の正社員化や所得向上を促進するための県独自の奨励金の支給、働き方改革の普及啓発等の実施、就職氷河期世代に対する「正社員化促進事業奨励金」の上乗せ支給
生活あんしんネットやまがた事業費	7,912 (7,912)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	労働者等からの福祉や生活に関する相談受付や就労支援を行う生活あんしんネットやまがたの運営
計	193,870 (307,065)		

(9) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】

施策の推進方向と主な取組み

㊸ 国際ネットワークの形成促進

K P I	酒田港の国際定期コンテナ航路貨物量（実入り）				
	基準値（平成30年）： 25,321 TEU				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5
	28,500TEU	30,100TEU	31,700TEU	33,300TEU	35,000TEU

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜酒田港の機能強化＞

（課題）

- ・京浜港だけでなく秋田港・新潟港・仙台港など近隣港との競争が激しくなっていること等を踏まえ、本県内陸地域や県外での新規荷主の獲得と定着に取り組むことにより、酒田港の利用拡大を図ることが必要（再掲）

（対応）

- ・酒田港利用拡大等に向けたポートセールスの展開（再掲）
⇒県内外企業に対し、酒田港の港湾機能の強化やコンテナ航路利用助成等をアピールし、酒田港の利用拡大を図るとともに、国際定期コンテナ航路の運航会社に対する航路の利便性向上を働きかけ（再掲）

【令和2年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 （前年度）	区分	事業概要
酒田港国際物流拠点化推進事業費（再掲）	18,110 (18,163)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	酒田港利用拡大に向けたポートセールスの実施、並びにコンテナ航路の利用に対する助成
計	18,110 (18,163)		

(10) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】

施策の推進方向と主な取組み

㊸ 魅力あるまちづくりの推進

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><まちの賑わいの創出> (課題) ・中心市街地は「まちの顔」であるが、郊外型大型店やコンビニの増加などにより来街者が減少し、賑わいが低下（再掲） ・個店が経営に追われ商店街の活性化に従事できる人材が不足（再掲） ・商店街は身近な地域の商業機能として、県民の生活を支える重要な役割を担っているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い買い物客が激減し、危機的状況に直面 (対応) ・中心商店街・商店街活性化への支援（再掲） ⇒長期的ビジョンの策定や策定した計画の事業実施、賑わいづくりの取組みへの支援（再掲） ・「官民連携のまちづくり」の推進（再掲） ⇒まちづくりを担う人材を発掘・育成するため、研修会等の開催（再掲） ・商店街の持続的な振興を図るため、消費喚起策に積極的に取り組む商店街等に対する支援の実施 ⇒商店街等が行うセールの開催、ポイント還元等、地域の実情に応じた取組みへの支援</p>

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
賑わいのある商店街づくり推進事業費（再掲）	5,829 (5,010)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援
大型倒産等緊急対策事業費（再掲）	7,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	商店街が行う個人消費喚起の取組みに対する市町村と連携した支援
商店街振興組合等組織体制強化事業費	1,079 (1,079)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	山形県商店街振興組合連合会が実施する商店街振興組合の運営指導や研修事業等に対する支援
がんばる商店街緊急応援事業	92,500 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	商店街等の持続的な振興を図るため、消費喚起策に積極的に取り組む商店街等に対する支援
計	106,408 (6,089)		

② 県を超えた交流連携の推進

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><多様な分野における近隣県等との交流連携の推進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北における自動車関連産業の集積が進み、取引が活発化する中、東北が一丸となって自動車関連産業を振興していくことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地域の自動車メーカー及びサプライヤーに対して、東北6県・北海道・新潟県の企業、大学等が一堂に介し、自動車関連技術展示商談会を開催

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
自動車関連産業集積促進事業費(再掲)	20,128 (20,128)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	県内企業の取引拡大に向けた商談会の開催、自動車メーカーOBによる県内企業への個別指導、次世代自動車技術への対応等
成長分野参入総合支援事業費(再掲)	62,465 (66,363)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	新規参入のための各種認証の取得支援、産学官連携のコーディネート、生産効率の改善・販路開拓の支援などによる成長期待分野をけん引する中核企業の育成
中小企業取引支援対策事業費(再掲)	18,480 (12,431)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	取引あっせんや商談会開催等による中小企業の取引拡大への支援、企業の持続的発展に必要な成長戦略の策定を支援
計	101,073 (98,922)		

Ⅱ 政策の効率的・効果的な展開の促進

施策の推進方向と主な取組み

㊸ 新型コロナウイルス感染症への主な対応

【令和2年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

<新型コロナウイルス感染防止を踏まえた採用活動の促進>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により対面式の面接実施が難しくなったため、ウェブによる面接等新たな取組みにより採用活動を行う企業が増えつつあることから、県内中小企業においてもそのような対応が必要（雇用）（再掲）

(対応)

- ・県内中小企業の採用活動支援（雇用）
⇒採用活動においてウェブ面接等新たな取組みを行う県内中小企業の費用を一部補助（再掲）

<学生と県内企業のマッチング支援>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来春に大学等を卒業予定である学生等の就職活動と、県内企業の採用活動の両方が停滞（再掲）

(対応)

- ・合同企業面接会の開催（再掲）
⇒県内の学生向けには対面式で、県外の学生向けにはオンラインで、それぞれ合同企業面接会を開催し、両者のマッチングを促進（再掲）

<県内企業における雇用の維持>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により苦境にある県内企業の雇いを維持するための支援が必要（再掲）

(対応)

- ・雇用調整助成金の活用促進
⇒政府の雇用調整助成金において、助成率の大幅な引上げなど特例措置が拡大されたことを受け、当該助成金を県内企業が最大限活用するための支援を実施（再掲）

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

<新生活様式・新ビジネス様式に対応した環境づくり>

(課題)

- ・新型コロナウイルスの感染防止の取組みと地域経済の回復の両立のため、県民が安心して社会活動ができる環境づくりが必要（再掲）

(対応)

- ・新生活様式・新ビジネス様式に対応するために行う前向きな設備投資を支援（再掲）
⇒空調設備の整備、キャッシュレス決済やオンライン予約のシステム構築などの設備投資や在宅勤務、Web商談会等を可能とするテレワーク環境の整備を支援（再掲）

<緊急的な経営改善への支援>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3密が起きやすい業態並びに県外との往来に関係する業態の施設等において、ゴールデンウィーク期間中の営業自粛等に取り組むことが必要(再掲)
- ・営業自粛等を行った事業者において、新型コロナウイルスを乗り越えるための経営改善の検討が必要(再掲)

(対応)

- ・県からの企業等の活動の自粛要請に協力し、経営改善の検討を行う事業者に対する支援の実施(再掲)
⇒山形県緊急経営改善支援金の交付(再掲)

<地域経済の景気浮揚策>

(課題)

- ・新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた地域経済が本格的な回復に至らず(再掲)

(対応)

- ・県民の県内での消費活動喚起策を実施(再掲)
⇒県内の飲食店や小売店、生活関連サービス業等で、県民が利用できるプレミアム付きクーポン券を発行(再掲)

<事業承継・雇用継続への支援>

(課題)

- ・事業承継を進めていくため、関係機関がさらに情報共有を図り連携していくことが必要(再掲)

(対応)

- ・市町村等との連携による事業承継の促進(再掲)
⇒市町村との連携により事業承継・雇用継続奨励金給付事業を実施し、事業承継をさらに促進(再掲)

<中小企業・小規模事業者の持続化のための資金繰り支援>

(課題)

- ・新型コロナウイルスにより県内の幅広い業種に影響が及んでおり、経営基盤が脆弱な中小企業・小規模事業者の経営を下支えすることが必要(再掲)

(対応)

- ・商工業振興資金による無利子融資制度等による支援(再掲)
⇒売上の減少が著しい事業者への、県・市町村・金融機関等が連携した無利子・無保証慮の融資制度による支援(再掲)

4 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

<商店街への支援>

(課題)

- ・商店街は身近な地域の商業機能として、県民の生活を支える重要な役割を担っているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い買い物客が激減し、危機的状況に直面(再掲)

(対応)

- ・商店街の持続的な振興を図るため、消費喚起策に積極的に取り組む商店街等に対する支援の実施(再掲)
⇒商店街等が行うセールの開催、ポイント還元等、地域の実情に応じた取組みへの支援(再掲)

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
山形の未来を担う産業人材創出事業費(再掲)	35,554 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた青少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ(創業)人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等
ウェブ合同企業面接会等実施事業費(再掲)	5,803 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職・採用活動の両面に悪影響が生じていることを受けての、オンラインでの面接会の開催
県内学生向け合同企業面接会実施事業費(再掲)	3,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、本来就職・採用活動が活発化する4月から6月にかけて活動が停滞したことを受けての、感染症予防対策を実施しながらの対面式面接会の開催
雇用調整助成金活用支援事業費(再掲)	140,306 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	政府の雇用調整助成金の活用促進を図るための、相談窓口の開設、県単独上乘せ及び市町村との連携による申請代行手数料の助成
新型コロナウイルス感染症対策離職者応援事業	14,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた県内労働者に対し応援金を支給
新・生活様式対応支援補助金(再掲)	2,075,717 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等が、新・生活様式に対応する店舗の改修や設備を導入する経費に対する支援 ① ガイドライン対応型 ② 中小企業支援型 ③ 小規模事業者支援型
オンライン化促進支援補助金(再掲)	153,365 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等が、在宅勤務やWeb商談会等を行うための、職場のテレワーク環境整備を支援
緊急経営改善支援金交付事業費(再掲)	1,111,193 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	ゴールデンウィーク期間中において、県からの企業活動の自粛要請に協力する県内事業者に対し、新型コロナウイルスを乗り越えるための経営改善の検討を支援
飲食店・小売店・生活関連等消費応援事業費(再掲)	1,562,800 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	本格的な地域経済の回復につなげるため、県民(県内在住者)が県内の飲食店、小売店及び生活関連サービス業等において使用することができるプレミアム付きクーポン券を発行
事業承継・雇用継続奨励金給付事業費(再掲)	36,388 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	県外からの移住によって個人の事業を承継する者や法人の事業を承継する者に奨励金を給付
商工業振興資金融資事業費(再掲)	106,619,134 (58,200,500)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	中小企業・小規模事業者等を支援するため、市町村、金融機関と連携しながら実施している無利子融資制度に係る資金需要の増加に対応し、4月補正予算で増額した融資枠を、さらに大幅に増額(750億→2,417億)

がんばる商店街 緊急応援事業(再 掲)	92,500 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	商店街等の持続的な振興を図るため、消費喚起 策に積極的に取り組む商店街等に対する支援
計	111,849,760 (58,200,500)		